ボーリング柱状図

調　査　名　（仮称）岸和田市貝塚市斎場建設に伴う地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	岸和田市流木町地内							北緯	37° 34’ 14.4140”
発注機関	岸和田市　建設部　公共建築マネジメント課			調査期間	令和 3年 12月 20日 ～ 4年 1月 6日					東経	140° 28’ 08.7005”
調査業者名	川崎地質株式会社　西日本支社 電話（072-431-0602）	主任技師	藤澤　晃	現場代理人	知念　千佳	コア鑑定者	知念　千佳			ボーリング責任者	米本　保治
孔口標高	58.017m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	YBM-05	ハンマー落下用具	自動落下装置
総掘進長	36.50m								エンジン	NFAD-8	ポンプ	BG-5C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2	55.32	2.70	2.70		砂混じり粘土	黄褐		rc2	GL-0.3mまで表土（礫混り粘土） 粘土を主体とし、所々に褐色や灰色の粘土を混在する。 マトリックスは微細砂を主体に、細～中砂を少量混入。 所々にφ2～20mmの亜角礫が点在。 含水量は低い。	
3 4	53.82	1.50	4.20		シルト質粘土	暗灰		rc2	概ね均一な粘土で、一部褐色化した微細砂を混入。 含水量は低位。粘性は中位。	
5	52.92	0.90	5.10		粘土質砂	暗灰	rd3		細砂を主体に、粘土を多く含む。 含水量は低位。	
6 7 8 9	48.32	4.60	9.70		シルト質粘土	暗青灰		rc3	全体に均一な粘土で、シルトを多く含む。 含水量は低位。粘性は中位。 GL-7.0m以深：徐々に固結し、下部に従い含水量も低くなる。	
10	47.22	1.10	10.80		粘土混り砂	褐灰	rd2		細砂を主体とし、微量の粗砂を混入。 含水量は低位。植物片を混入。	
11	46.02	1.20	12.00		シルト質粘土	茶褐		rc3	褐色化した層と暗灰色層が細互層を呈すやや軟質な粘土。 含水量は低位。	
12 13	44.02	2.00	14.00		シルト混り砂	褐灰	rd3		細砂を主体とし、シルトをブロック状に混入。 褐色化した細砂を所々に挟む。 含水量は低位。	
14	43.02	1.00	15.00		砂	褐灰	rd3		細砂を主体とし、所々に褐色化した微細砂が混在。 含水量は低位。	
15	42.22	0.80	15.80		砂	褐灰	rd3		細砂を主体とし、所々に褐色化した微細砂が混在。 含水量は低位。	
16 17	41.02	1.20	17.00		粘土混り砂	灰褐～褐灰		rc4	細砂主体。粗砂を混入する褐色化した薄層を挟在する。 シルトをブロック状に混入。	
	40.12	0.90	17.90		砂質シルト	淡灰	rd4		微細砂を含み、暗灰色の薄層を挟む。含水量は低位。	
18	39.12	1.00	18.90		粘土質砂	淡灰～褐灰	rd3		細～中砂を主体し、層境界上部は粘土を多く含む。地層境界下部はφ2～10mm程度の礫が混入。	
19	38.32	0.80	19.70		シルト質粘土	淡灰		rc2	微細砂を少量混入。所々に褐色化した層を挟む。	
20 21	36.32	2.00	21.70		粘土質砂	淡灰～橙	rd4		細砂を主体とし、粘土をブロック状に挟む。 下部は褐色の細砂主体。含水量は低位。 GL-20.0m付近　粘土優勢。	
22	35.12	1.20	22.90		粘土	褐灰		rc4	固結した粘土。 全体に褐色・灰色・暗褐が斑状に呈す。 含水量は低位。	
23 24	33.22	1.90	24.80		砂質シルト	暗灰		rc4	やや均一なシルトを主体に微細砂を多く含む。含水量は低位。 下部に従い微細砂が減少。 少量の雲母を混入。	
25	32.32	0.90	25.70		シルト	暗青灰		rc4	非常に硬質なシルト。 含水量は低位。粘性は低い。	
26	31.62	0.70	26.40		砂	淡褐灰	rd5		中砂を主体とし、微量のシルトを含む。含水量は高位。	
27					粘土質	暗		rc	固結したシルトを主体とし、微細砂を少量混入。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	4	5	12／30	12
1.45～2.00	4	4	5	13／30	13
2.30～3.15	3	3	4	10／30	10
3.45～4.15	4	7	8	19／30	19
4.45～5.15	4	6	4	14／30	14
5.45～7.15	3	4	4	11／30	11
7.45～8.15	3	4	4	11／30	11
8.45～9.15	3	4	5	12／30	12
9.45～10.15	3	5	5	13／30	13
10.45～11.15	8	8	12	28／30	28
11.45～12.15	3	3	4	10／30	10
12.45～13.15	7	8	10	25／30	25
13.45～14.15	6	10	8	24／30	24
14.45～15.15	15／19	11	15	41／39	32
15.54～16.15	12	20	18／7	50／27	56
16.42～17.15	6	11	12	29／30	29
17.45～18.15	7	8	11	26／30	26
18.45～19.15	3	4	4	11／30	11
19.45～20.15	9	14	20	43／30	43
20.45～21.15	8	11	15	34／30	34
21.45～22.15	8	7	9	24／30	24
22.45～23.15	8	10	21	39／30	39
23.45～24.15	9	11	23	43／30	43
24.45～25.15	15	26	19／7	60／27	67
25.42～26.15	31	19／3		50／13	115
26.28～27.15	4	4	6	14／30	14
27.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

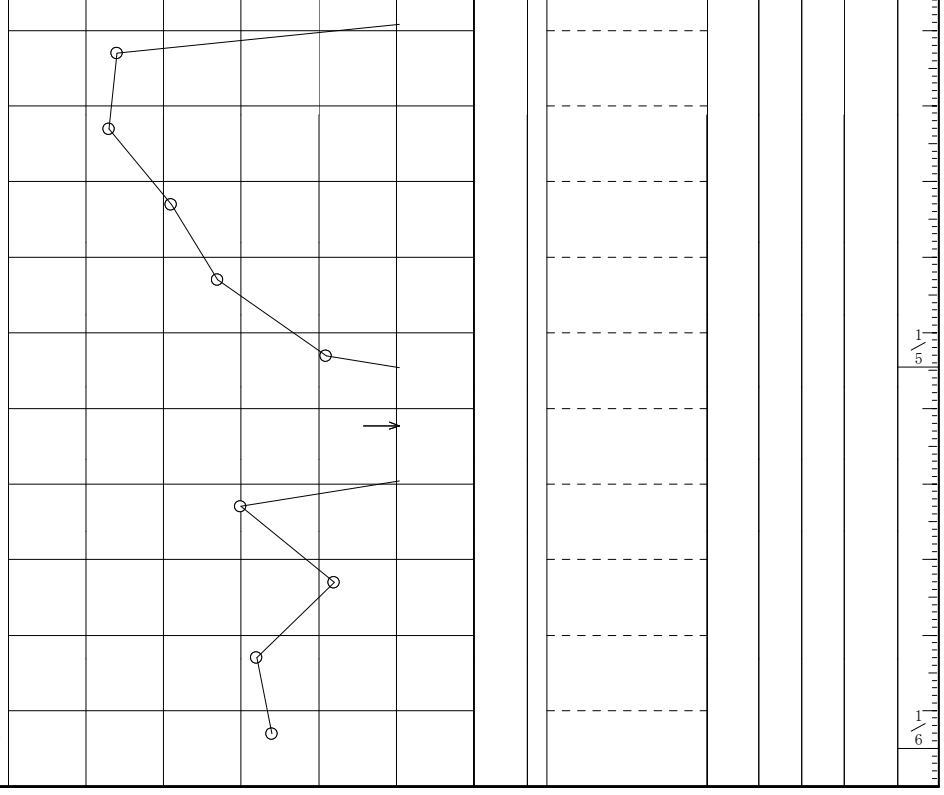
試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
5.50～6.00	D-2	Ⓓ
6.05～6.60	D-2’	Ⓓ
12.00	D-3	Ⓓ
19.50～19.75	D-4	Ⓓ

室内試験（　）

掘進月日

12／20
12／21
12／22
12／23
12／24
12／28

27 28	29.37	2.25	28.65	粘土質シルト	暗灰		rc4	固結したシルトを主体とし、微細砂を少量混入。 含水量は中位。粘性は低い。
29	28.32	1.05	29.70	砂質シルト	淡褐灰		rc4	硬質なシルトを主体に微細砂を含む。雲母を混入。 含水量は中位。粘性は低い。
30 31 32	25.52	2.80	32.50	砂	淡灰～暗褐灰	rd4		細砂～中砂を主体。含水量は中位。上層との境界は不明瞭。雲母を混入。 GL-31.0m付近　細砂を主体歳、中砂を少量混入。 GL-32.0m付近　中砂を主体とし、粗砂を混入。最大φ20mmの礫点在。暗褐色を呈する。
33 34 35 36	21.52	4.00	36.50	シルト質粘土	暗青灰		rc4	全体に一様に固結した、硬質な粘土。 含水量は低位。粘性は低い。 地層境界下部はシルトを多く含む。 GL-34.0m付近　極少量の植物片を混入。

27.15	4	4	6	14/30	14
27.45 28.15	4	4	5	13/30	13
28.45 29.15	5	6	10	21/30	21
29.45 30.15	5	10	12	27/30	27
30.45 31.15	11	13	17	41/30	41
31.45 32.15	27	23/6		50/16	94
32.31 33.15	6	11	13	30/30	30
33.45 34.15	9	13	20	42/30	42
34.45 35.15	32/30			32/30	32
35.45 36.15	9	12	13	34/30	34
36.45